

貝塚市埋蔵文化財発掘調査報告 第53集

津 田 北 遺 跡

発 掘 調 査 報 告 書

2000. 3. 31

貝塚市教育委員会

第1章 調査に至る経過

平成6年、貝塚市津田北町110-1他地内、貝塚市、岸和田市両市にまたがる63,000m²の工場用地において住宅地開発計画が出され、株式会社テザックより、平成6年12月7日付にて「埋蔵文化財確認調査の依頼書」が提出された。

対象地は岸和田城下と貝塚寺内の中間に位置し、周知の遺跡には含まれないものの、紀州街道沿いという環境から、何らかの遺跡が存在することが考えられた。そこで、協議を開始し、早い時期に試掘調査を実施する必要があることを回答した。その結果、工場が稼働している状況での調査という条件のもと、まず有無確認のための小規模な調査を実施する事となった。

平成6年12月19日、20日に、対象地東部に2ヶ所（1、2区、面積85m²）の調査区を設定して第1回の試掘調査を実施した。調査では、中世から近世にかけての遺物が出土し、中世以降の遺物包含層を確認した。調査内容説明とさらに試掘調査が必要であることを文書にて回答し、

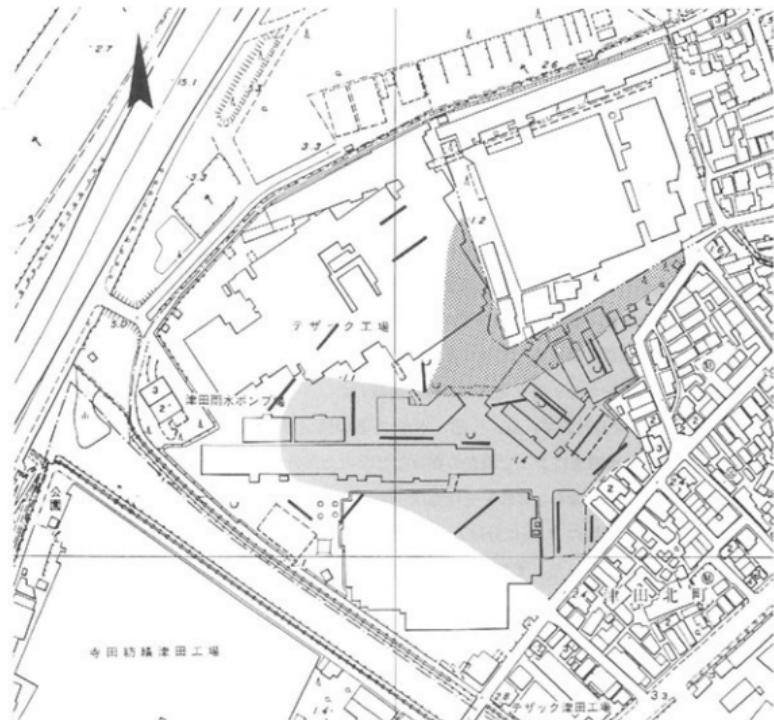


図1. 確認調査区位置図

第2章 位置と環境

津田北遺跡は貝塚市北側を流れる津田川右岸の海岸部に位置し、南北300m、東西300mの規模を測る中世から近世にかけての遺跡である。市域最北の遺跡で、一部、岸和田市南町も含み、調査敷地内で市境を画している。津田川をはさんで南には津田遺跡、堀新遺跡が存在する。さらに天正年間より近世まで栄えた都市遺跡の貝塚寺内町遺跡、古墳時代～室町時代の集落跡である堀遺跡も存在している。津田川右岸を上流にさかのほどると、弥生～古墳時代、中世にかけての集落跡である小瀬五所山遺跡や土生遺跡、绳文・平安～近世の散布地、集落跡の久保遺跡等が存在する。岸和田市域に入って、調査地の東側には岸和田城がそびえ立ち、周囲に岸和田城遺跡が存在する。

遺跡は今回の開発によって新たに発見したもので、調査地以外に本格的な発掘調査は行われていなかった。周辺遺跡の調査例で本遺跡と関連するものは、津田遺跡、堀新遺跡、貝塚寺内町遺

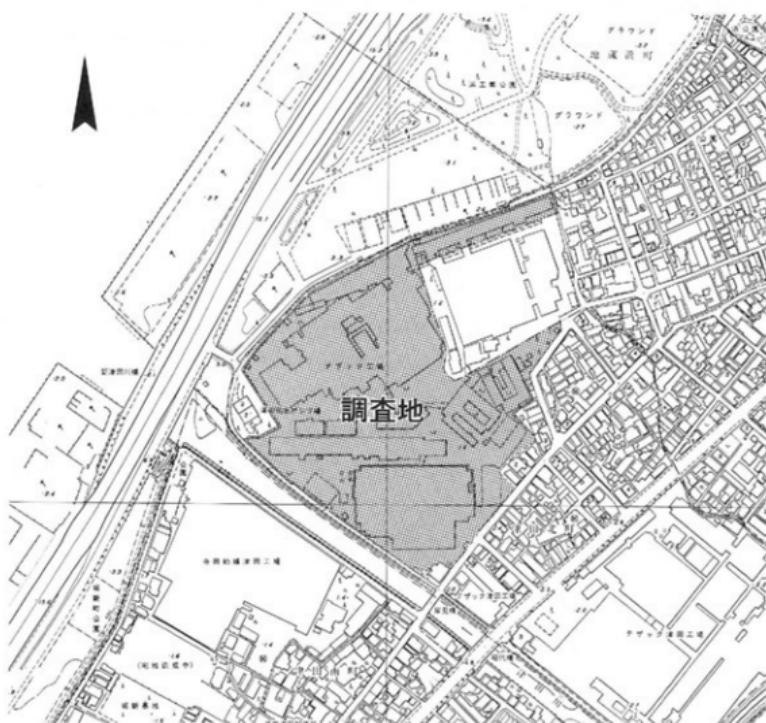


図4. 調査地位置図

第3章 調査成果

1. 調査概要

調査は試掘調査結果に基づき、開発計画に沿って調査区を設定した。

調査対象地は広大であり、また開発工事の工程との関係から、調査期間は2ヶ年を要した。まず、分譲住宅の道路部分をⅠ期、中・高層の共同住宅部分をⅡ期とした。Ⅰ期は平成9年度、Ⅱ期は平成10年度に調査し、Ⅰ期を1～3区、Ⅱ期を1～4区の計7区に分けた。

調査区は国家座標に基づき、5m×5mの区画を設け、北から1～54、東からA～Z、a～iの番号を与えた。

調査は盛土下の近代耕土層まで機械で掘削し、各包含層を人力で掘り下げた。全調査区には2～7層の包含層が堆積し、遺構検出は各層上面で行った。各調査区の包含層については、調査中にある程度の対応はさせていた。しかし特に層名を統一することはせず、各調査区毎に上から順

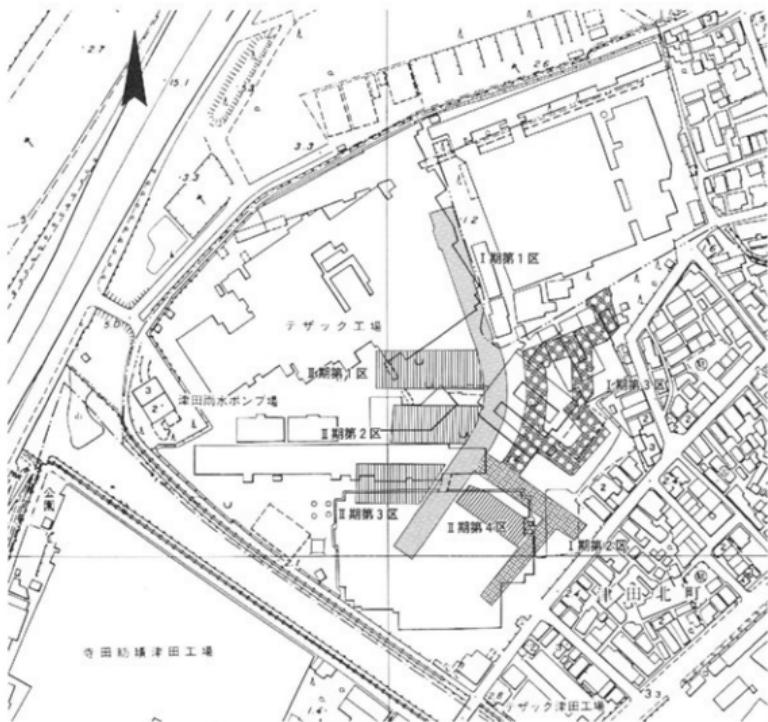
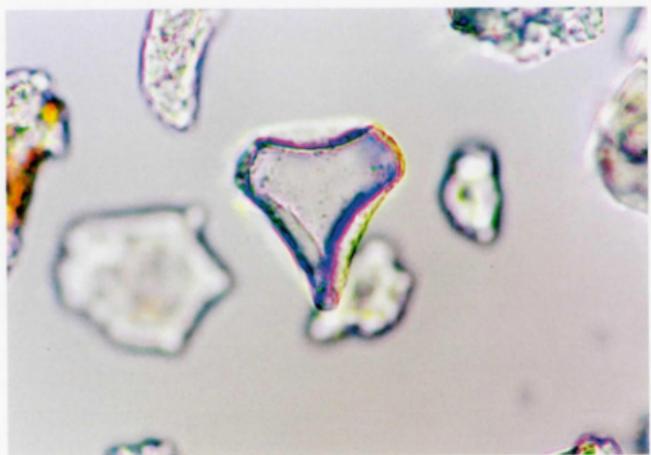
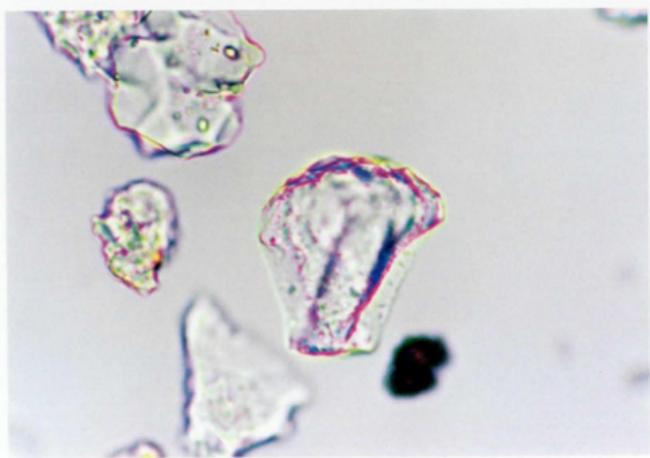


図5. 調査地区位置関係図

図版1 植物珪酸体（プラント・オパール）の顕微鏡写真

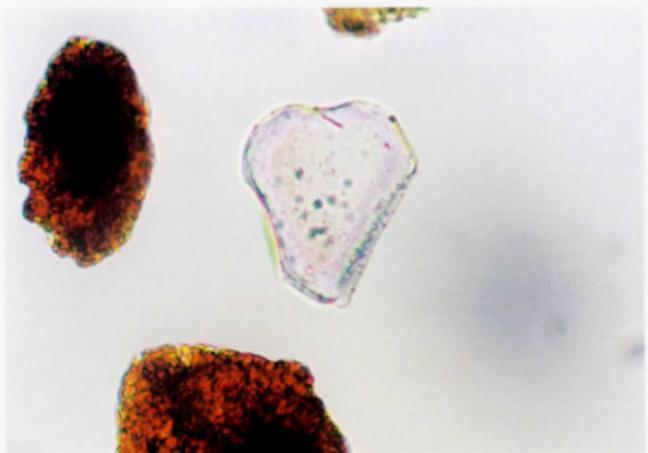


1 イネ

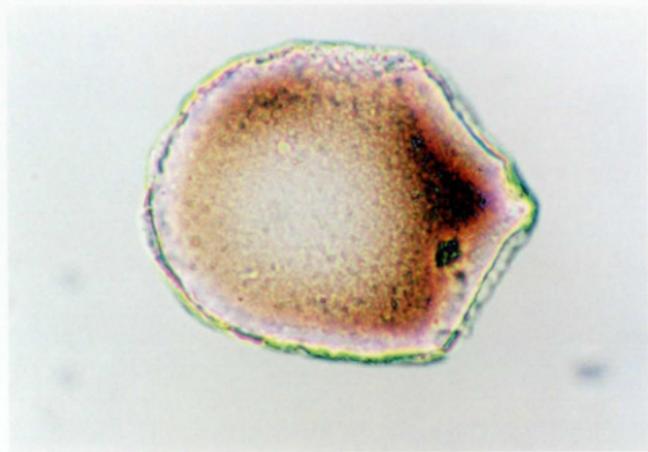


2 イネ

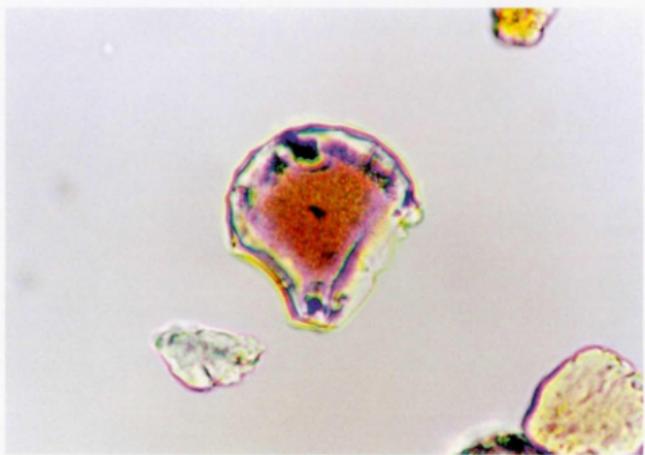
図版2 植物珪酸体（プラント・オパール）の顕微鏡写真



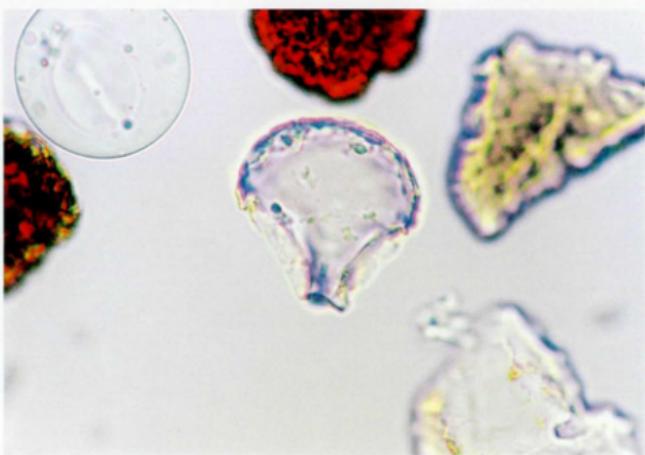
3 ヨシ属



4 ウシクサ族 (ススキ属)



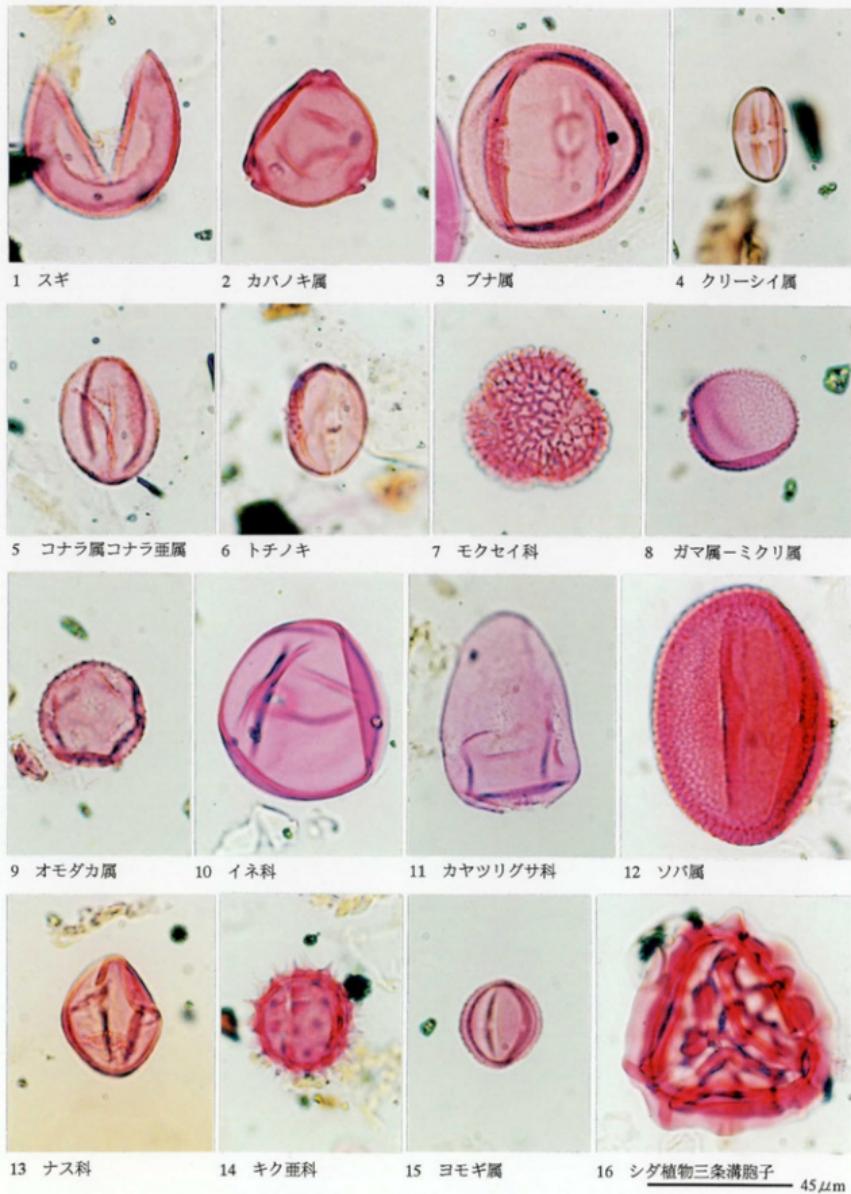
5 シバ属



6 タケ亜科（ネザサ節型）

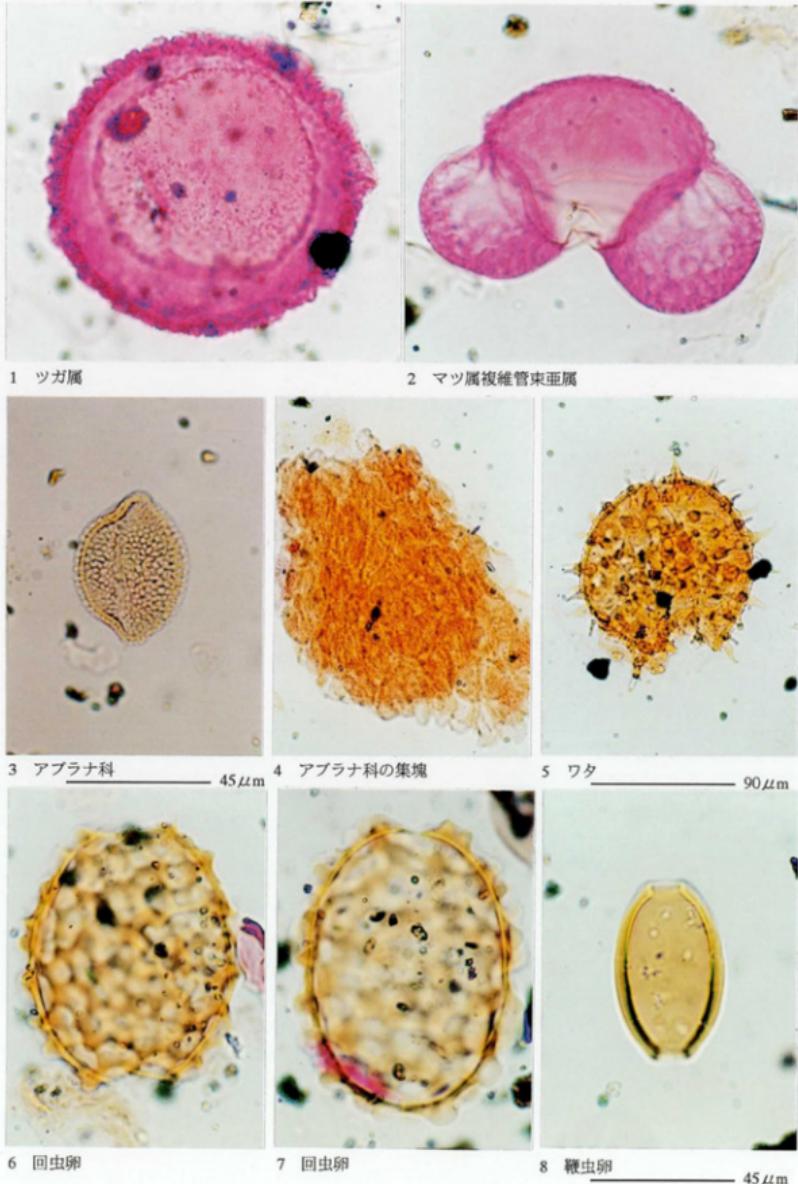
図版 4 津田北遺跡の花粉・胞子遺体 I

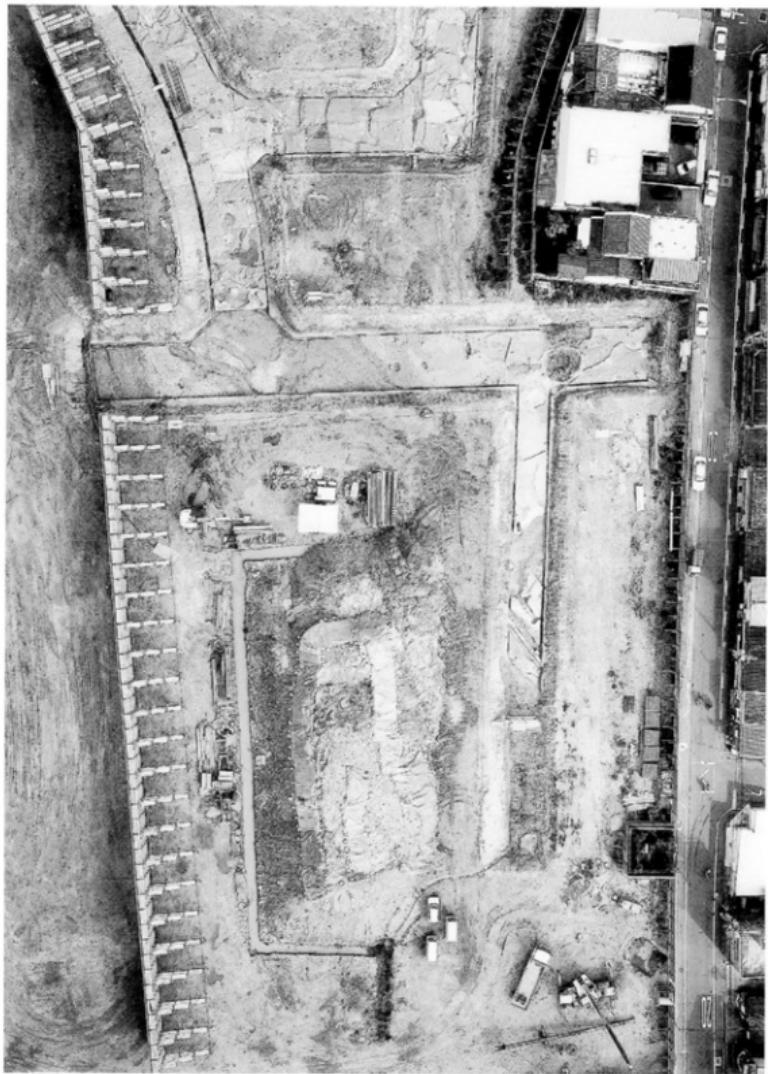
津田北遺跡の花粉・胞子遺体 I



シダ植物三条溝胞子 $45 \mu\text{m}$

津田北遺跡の花粉・胞子遺体・寄生虫卵 II



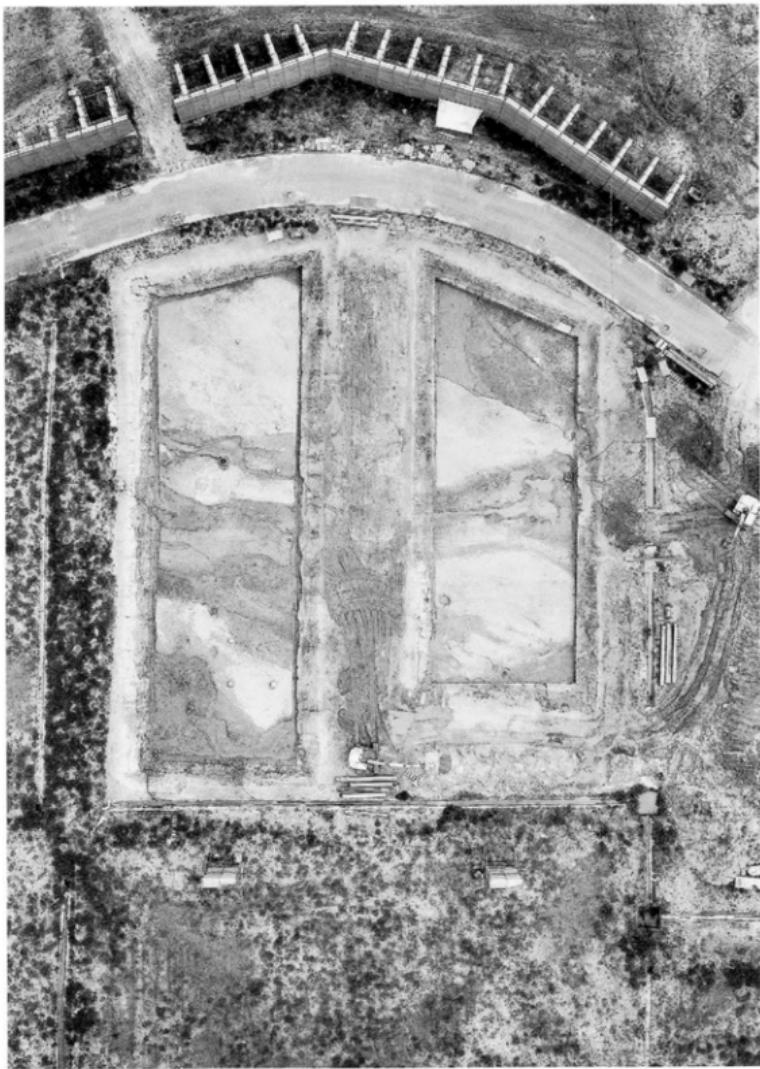


I期 第2区 航空写真



I期 第3区 航空写真

図版 3 検出遺構



II期 第1、2区 航空写真

図版4 検出遺構



Ⅱ期 第3、4区 航空写真



I期 第1区 航空写真 (SE-4001)



I期 第2区 航空写真 (SE-2201)



I期 第3区 航空写真（地山上面検出鉢溝）



I期 第3区 航空写真（地山上面検出鉄溝）



I期 第3区 航空写真（地山上面検出鉢溝）



II期 第3区 航空写真（地山上面検出鉋溝）

図版 11 I期 第1区検出遺構



1.SB-1001

東より



2.SB-1002

南東より

図版 12
I 期 第1区検出遺構



1. SX-6001

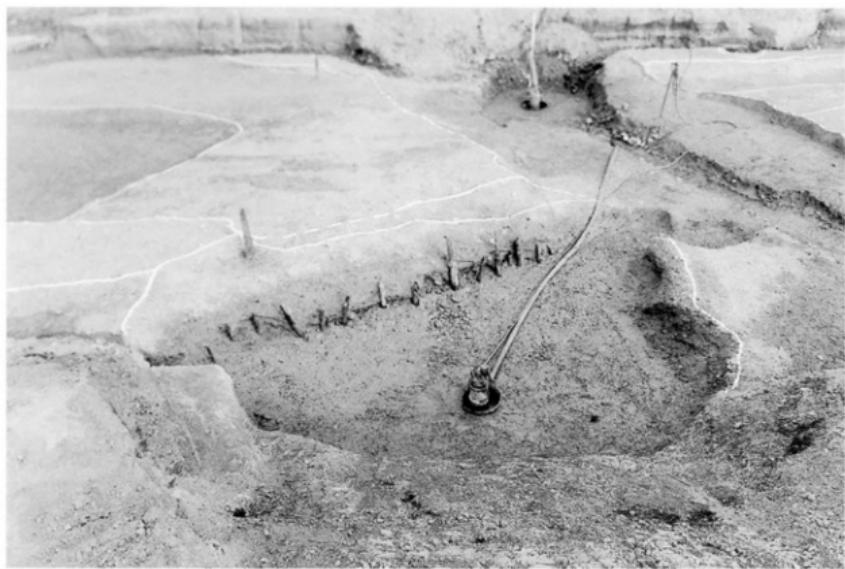
南西より



2. SD-4004 石列

南東より

図版 13
I期 第1区検出遺構



1. SE-4001

北西より



2. 同上

南より

図版 14 I期 第1区 検出遺構



1. SE-2001

北東より



2. 同上

南より



1. SE-2001

北西より



2. SX-4001

北東より

図版 16 I期 第1区検出遺構



1. SE-4050

南西より



2. 同上

北西より



1. 第4層上面検出鋤溝群

南東より



2. 第5層上面検出鋤溝群

北東より



1. SE-2201

西より



2. 同上

北より



1. SX-2301

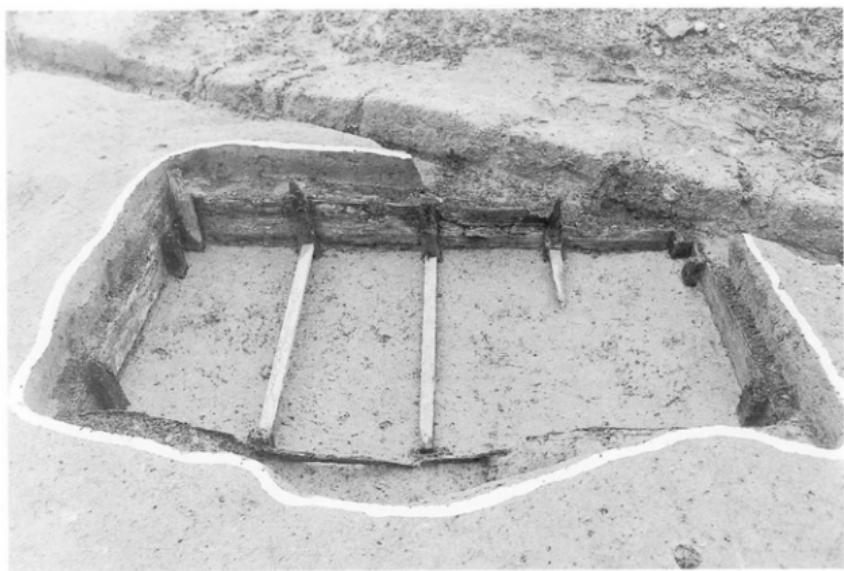
北西より



2. SX-2302

東より

図版 20
I期 第3区検出遺構



1. SK-3103

南西より



2. SE-3101

東より

図版 21
I期 第3区検出遺構



1. SK-3102

北東より



2. SE-3104

北西より



1. SE-3106

北より



2. 第12層上面検出鉢溝群

北より



1. SX-3601

南西より



2. SX-3604

北西より

図版24
Ⅱ期 第1区検出遺構



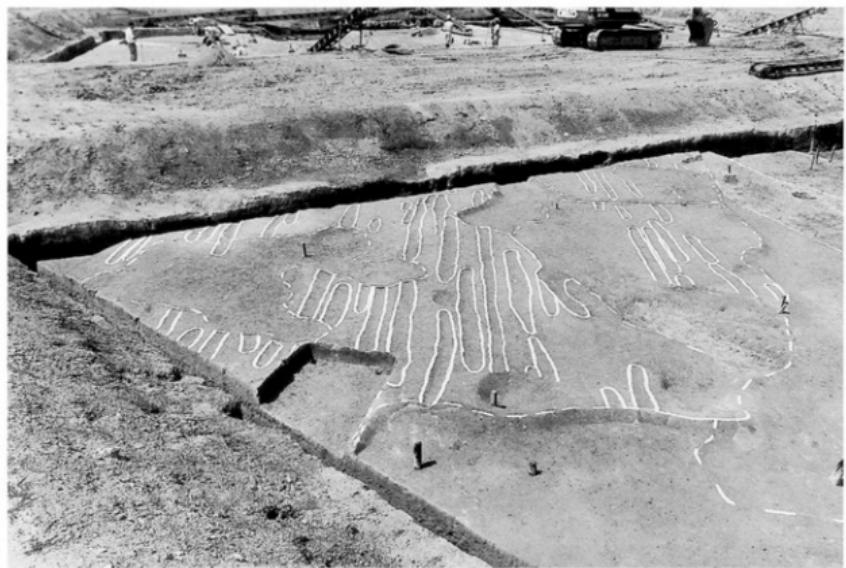
1. 堤12001

北より



2. 同 断面

北西より



1. 第5層上面検出鋤溝群

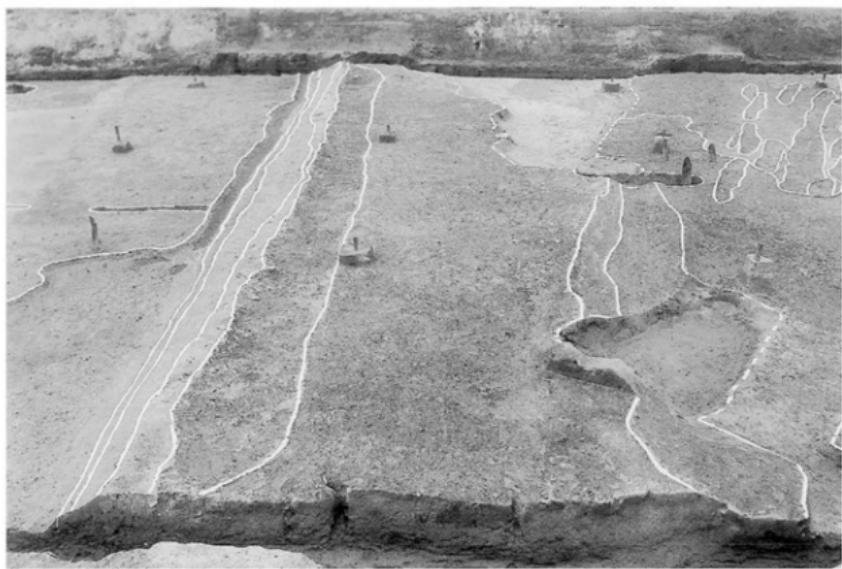
北東より



2. SK-11003

北東より

図版 26
Ⅱ期 第2区検出遺構



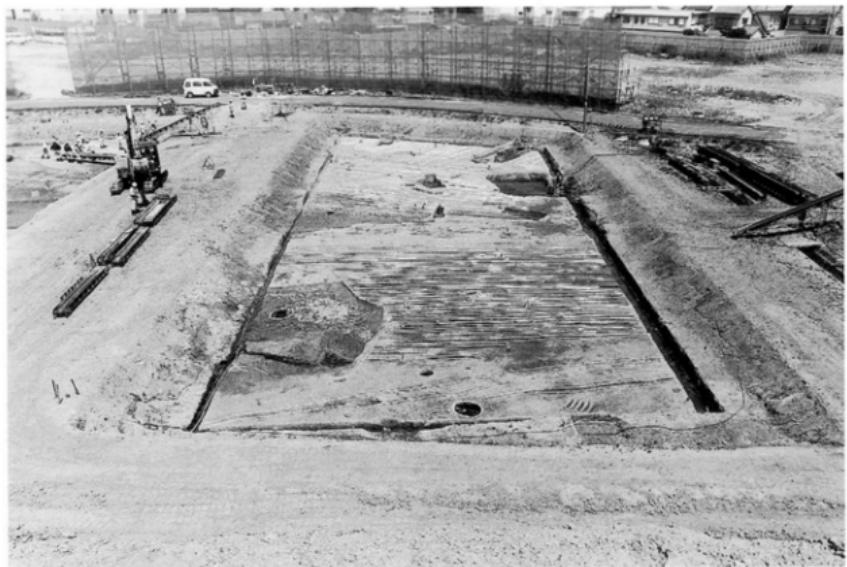
1. 堤 22001

南より



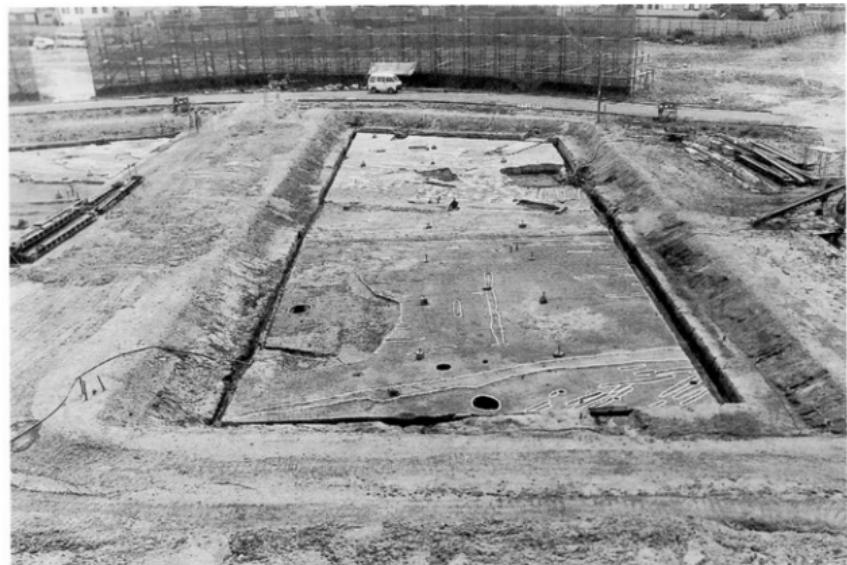
2. 畦

南より



1. 第4層上面検出鉢溝群

西より



2. 第5層上面検出鉢溝群

西より



1. SE-22002

南より



2. SE-22001

南西より



1. SD-32004、32005

北西より



2. 同上 石列

南より



1. SD-32001、32002

南より



2. 畦32001、鉢溝群

北西より



1. SX-46001、46003

南東より

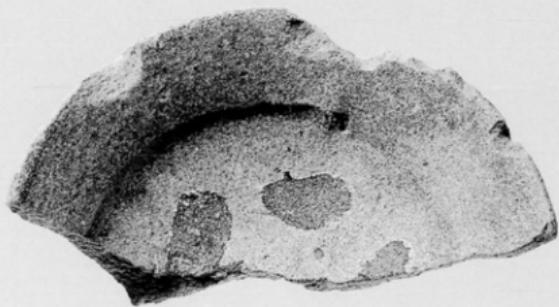


2. 第11層上面検出鉢溝群

南より



15



19

SX-6001(15)、SK-4001(19) 出土陶器



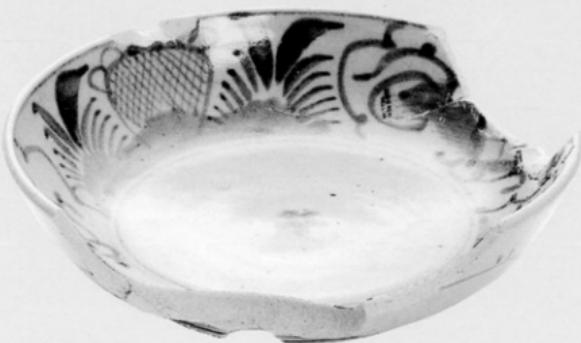
25



25



30

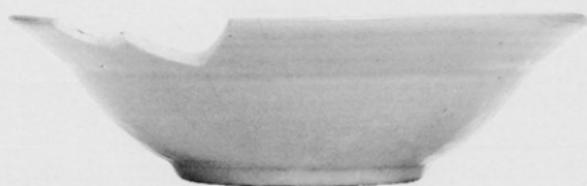


50

SX-4050(30)、第3層上面検出錦溝群(50) 出土陶磁器



52



98



99

SX-3605(98、99) 陶磁器



117



117

SX-3101(117) 出土磁器



105



227

SX - 3 6 0 5 (105)、SD - 3 2 0 0 5 (227) 出土燒塗壺



145

147

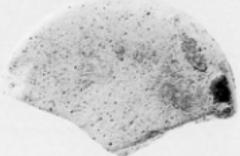
41

54



101

101



161



267



276



100



275

SX - 6 0 0 2 (10)、第6層上面検出鉢溝群 (41)、SX - 2 1 0 1 (54)、第4層 (145,146)、SX - 3 6 0 1

(274) SX - 2 1 0 1 (275) 出土青花

SX - 3 6 0 5 (100~104)、第3層 (161)、攪乱 (267)、SX - 3 6 0 1 (276) 出土焼塙壺



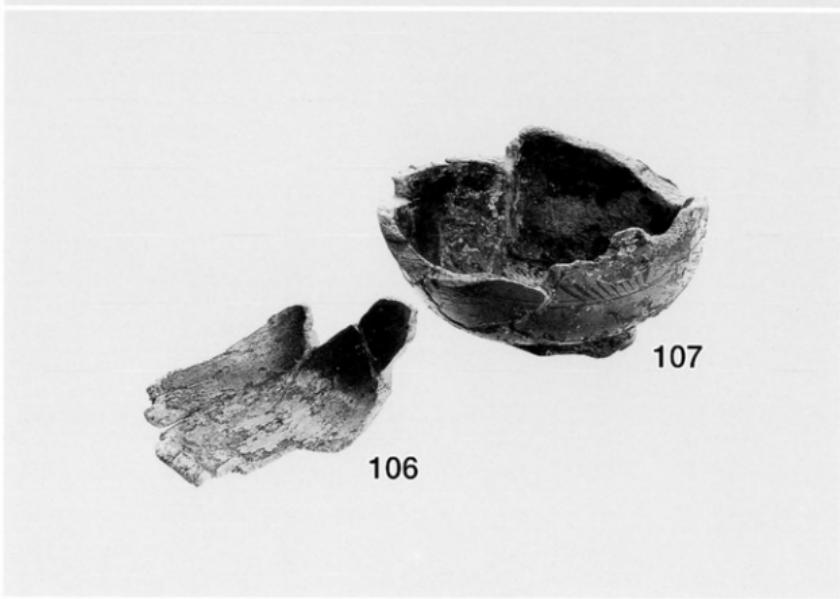
204



209



210



SX-4001(22,23,24)、SX-3605(106,107) 出土木製品



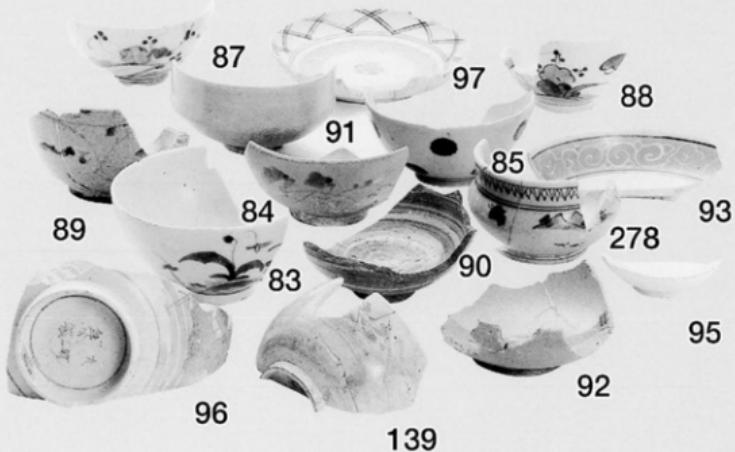
173

29



277

SX-4050 (29)、第14層 (172)、SK-3605 (277) 出土木製品



SX-3605 (83~85, 87~93, 95~97)、SX-1001 (139) 出土陶器、
第Ⅰ・Ⅱ期出土土錘

